

# 寺内小だより 12月

豊中市立寺内小学校

令和6年(2024年)12月2日発行 中村 和之

豊中市寺内2-15-1 TEL 6864-4950・4975

## ■ 体験学習による学びの深化

11月の参観、懇談には多数ご参加くださりましてありがとうございました。11月は、教室での授業による学びだけでなく、体験型の学習による学びの機会を設定している学年が多くありました。校外学習(遠足)に行った学年もありました。学習の様子を下記に紹介しますが、出前授業やゲストティーチャーという形で、発展的な学びに繋げるねらいを持って、子どもたちの成長の礎になるよう計画的に進めていっています。

### ○リズム縄跳び出前授業(全学年)

11月19日(火)に、プロの縄跳びプレイヤーによる出前授業を、1学年につき1時間、体育館で実施しました。豊中市内の学校に縄跳びの魅力を伝えていく、という目的で行いました。縄跳びパフォーマンスでは、難しい技を披露してくださり、子どもたちは大変驚いている様子でした。また、難しい技のポイントを教えてください、子どもたちがこれまで以上に縄跳びに興味、意欲を持って取り組めるような内容でした。回数を競う縄跳びとは異なり、縄を回す速さを変えてゆっくりジャンプする動きを入れたり、体の横で縄を回したりと、リズム縄跳びという、音楽に合わせて様々な技を表現して、楽しみながら技を成功させる喜びを感じていました。



### ○小学生体力づくり事業(3年生)

豊中市教育委員会の事業で、小学校の体育授業に指導者を派遣して体力・運動能力の向上を図ることを目的として実施されました。10月から11月の期間(全5回)に3人の指導者が派遣され、「楽しく体を動かす」指導を行うことで、児童の運動に対する関心を高めている姿が見られました。また、教員も外部指導者とともに授業に参加することで、普段の体育授業においても効果的に反映させることで、継続して子どもたちの体力向上に取り組むことができます。校内においても、他の学年の先生が見に来て、場の設定や専門的な技術指導を学ぶ様子も見られました。今回、子どもたちは跳び箱に取り組み、開脚跳びや閉脚跳び、台上前転などの技に挑戦していました。子どもたちが生き生きと、繰り返し跳び箱にしていたことが、これからの自信にもつながると思っています。



### ○認知症キッズサポーター養成講座(4年生)

緑地地域包括支援センターをはじめ地域福祉・医療・介護の皆さまのご協力で、体育館にて4年生対象に体験学習を行いました。認知症とは、ということから、物忘れと認知症の違い、どう対応したらいいのかなど、クイズや読み聞かせも取り入れてお話をさせていただきました。相手を思う気持ちが大事、ということ子どもたちが理解してくださうれしいです。そのあと、車いすなどの体験をしました。マットで作った段差を上り下りするところでは、大人の補助を受けながら悪戦苦闘をしていた子もいました。この日の体験を、忘れないで覚えていてほしいと思いました。



### ■ SDGs出前授業

6年生を対象に、クイズやゲームなどを通してSDGsについて学びました。



### ■ 地域交流の芋掘り体験

2年生がサツマイモの収穫をしました。子どもたちは大喜びでした。



### ■ 稲刈り体験・脱穀体験

5年生が、社会科の学習のつながりで、刈った稲をみんなで脱穀しました。



### ■ マジックショー

11月23日(土)にPTAの企画でMr.チャップリンさんによる大爆笑マジックショーが開催されました。

